

【戦評シート】

平成21年 11月15日 (日)	協会名： 高山市バスケットボール協会	
場 所： 高山ビックアリーナ	記入者： 前田芳隆	
チームA 豊田合成 スコーピオンズ 2勝 3敗	15-22 19-10 11-22 2-19	チームB 石川 ブルースパークス 5勝0敗

スターター	チームA： #5江藤, #7長野, #33持田, #39田中, #40地濃
	チームB： #6山田, #15宮村, #16北村, #24高村, #52ネイサン
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()
	チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()

1P 両チームハーフコートのマンツーマンでスタート。豊田合成は#40地濃のセンタープレーを軸に、石川は#52ネイサンの守りを軸に一進一退の攻防が続く。試合開始3分後、石川は全員をメンバーチェンジ。その後、粘り強いディフェンスから速攻が連続で決まり、石川がじりじりと点差を開き、7点差で1Pが終了。

2P 豊田合成は3-2ゾーンで守りを固め、石川は1Pスタートと同じメンバーに戻し、ハーフのマンツーマンディフェンス。石川はゾーンを攻めあぐみ、豊田が追いつき逆転する。開始3分後に、石川は全員メンバーチェンジ。その後#4ウスマンが入り。石川は残り3分より2-1-2オールコートゾーンプレスが成功し、豊田合成のターンオーバーが続く。石川が豊田合成に追い付き、前半2点差で終了。

3P 豊田合成、石川共にハーフのマンツーマンでスタート。石川は試合開始2分後、メンバーチェンジ。その後2-1-2のオールコートゾーンプレスに切り替え、積極的にスティールをねらう。石川#6山田のシュート力や、#24高村の3Pシュートで点を重ねる。石川の必要なディフェンスに、豊田合成は攻め手が無く、残り3分の同点から、5点差に開き3P終了。

4P 石川はオールコート2-1-2ゾーンプレスで積極的にスティールをねらいに行く。両チームともメンバーを頻りに交代し、ディフェンスのあたりも強くなるが、石川#52ネイサンのブロックショットやリバウンドからの速攻が連続して決まる。対する豊田は#8横井の3Pシュート等で対抗するが、最後まで攻めきれず、4Pは石川がリバウンドも支配して攻め続け、点差を拡げ終了。

※M注意：文面には試合内容のみご記入下さい。